

			2026年度		授業計画	
国際オートメカニク科						
時 期	3年後期	単元	実習	教科名	総合整備	
科 目	一般教養	教科書等 持参品	工具	発行日	2025年2月12日	
			サーキットテスト		2026年4月1日	
総時限	33時限 (52時間)		実習ノート	教科担当	教科担当	
単位数	-					
1. 実務経験のある教員による授業科目 該当 非該当						
自動車整備士として、自動車の構造物、部品等にかかわる点検、調整の実務経験がある教員により外部診断装置を活用した点検整備方法、その他就職後に求められる一般作業や取り付け作業等について指導する。						
2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）						
1. 日産3級技能要件の確認をする						
2. コンサルトⅢの取扱いの説明ができる						
3. 各種点検（新1、新6、安心6か月）の実施						
4. 各種作業（ブレーキ、エンジン周り、パンク修理等）の方法を学ぶ						
5. 車両取扱い時の注意事項を熟知する						
6. 就職後の車両取り扱い・作業全般を身に付ける						
3. 授業の到達目標（この授業を学ぶことで学生は何を理解し何ができるようになるのか）						
1. お客様の車両を取扱う上での注意事項を実践できる						
2. 日産3級の実技試験の合格レベルに達する						
3. ワイパーリフィール、エアクリーンフィルタなど一般作業ができる						
4. コンサルトⅢで自己診断機能及びデータモニタの呼び出しができる						
4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）						
実習試験の合計100点で評価（実技試験50点、筆記試験20点、レポート点15点、行動評価15点）						
一級自動車工学科は70点以上で合格とする。						
自動車整備科は60点以上で合格とする。						
自動車整備・ボディリペア科は60点以上で合格とする。						
自動車整備・カスタマイズ科は60点以上で合格とする。						
5. 準備学習						
今まで学習してきたお客様の車の取扱いについて実行できるようにしておくこと。						
6. 学修時間と単位						
1単位の修得に必要な学修時間の目安は、30～45時間の授業、および15～0時間の授業時間外学修（予習・復習・レポートなど）15～0時間である。						

[illegible]

■：対面授業

2026年度

授業計画

国際オートメカニク科

時 期

3年後期

単元

実習

教科名

総合整備

9. 安全 (KYのため必ず授業内で説明)

番号	作業名	遵守事項	災害事例	チェック
1	ジャッキアップ、ダウン	・ジャッキアップ、ダウン時の声掛け 輪止めの使用徹底	・ティアナのジャッキアップポイントを間違え、 スペアタイヤの部分が損傷	
2	ブレーキ分組（前後） スパーク・プラグ交換	状況に合わせたメカニックグローブの装着	・内張りを取り外す際に指を裂傷 ・室内配線を取り回している最中にバリで手を	

10. 授業レイアウト (写真の貼り付けも可)

実習場

座学教室